

# チャペル週報

No.11

2023.6.26～6.30

神を畏れる生き方が

あなたの頼みではなかったのか。完全な道を歩むことが

あなたの希望ではなかったのか。

ヨブ記 4章6節



ランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）

関西学院宗教センター

## 持続可能な開発目標（SDGs）達成の中間年によせて

望月 康恵

2023年は、持続可能な開発目標（SDGs）達成期限の中間点です。2015年に国連で策定されたSDGsは、2030年までに達成すべき17の目標と169の達成基準、232の指標により構成されています。

SDGsほど世界中でキャンペーンが繰り返されてきた共通の目標は存在していません。日本でも政府や自治体、企業や学校、さらには家庭でも様々な取り組みがなされてきました。

SDGsの特徴はいくつもありますが、とりわけ地球のすべての人が当事者であり、目標に到達するプロセスはそれぞれの自主性に基づいている、というスタンスは注目に値します。

SDGsは条約でないので、法的な義務が国に課されてはいませんし、仮に目標を達成できなかったとしても、罰則が加えられるわけでもありません。ですから「何もしない」という選択肢もありえます。しかし、貧困や紛争、環境問題、人権侵害などのグローバルかつ喫緊の課題を目にするにつれ、私たちは、何とかしたい、自分ができることはないだろうか、と考え行動してきました。実はこの自発性の涵養が、SDGsの強みです。期限とゴールのみが決められ、どのような行動をとるのかは、各主体に任されています。個人が自由に、自らの意思により行動していくことを促すのがSDGsなのです。

実はSDGsの作成は一筋縄ではありませんでした。190以上の国が多様な目標について議論し合意に至ることは容易ではなく、交渉は難航しました。しかし様々な違いを乗り越えてグローバルな目標を設定できたこと、またその目標に向かって一人ひとりが行動をとってきたこと、そしてこれからも地道な努力を続けていく、そのようなプロセスを作り上げたこと自体が評価されます。さらにこの目標を私たちが共有していることが、共同体としての国際社会という理解をより一層深めています。

SDGsの達成に向けて、今年で折り返し地点を迎えました。残すところ7年です。私たちはこれからどのような行動をとり、目標に近づきあるいは目標を達成していくことができるでしょうか。

(法学部教授)

## チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00

神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

6/26 月

神 説教学演習 A 吉澤 和海 (神学研究科 M1 年)  
経 李 相勲 (宣教師、経済学部准教授)  
人 嶺重 淑 (宗教主事)  
建 清水 陽子 (建築学部教授)  
聖和 竹内クラス ダッドレーチャペル

27 火

神 「私にとっての1枚」⑩ 土井 健司 (神学部教授)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 心新たにーコロナ後の出発⑨ 松宮 園子 (社会学部教授)  
法 酒井 晋弥 (神学研究科 M2 年)  
経 経済と人間⑧ 高島 正憲 (経済学部准教授)  
商 李 善恵 (宣教師、人間福祉学部教授)  
国 学生活動報告② 献血実行委員会  
理・工・生環 竹内 富久恵 (日本キリスト教団 神戸愛生伝道所／北須磨教会牧師)  
総 音楽チャペル 関西学院室内合奏団  
教 実習をふりかえって 森下 真白 (教育学部 4 年)

28 水

神 安田 典子 (大学院研究員)  
社 心新たにーコロナ後の出発⑩ 井上 武史 (法学部教授)  
法 音楽チャペル 関西学院聖歌隊  
商 木原 桂二 (宗教主事)  
人 Janette McIntosh (宣教師、国際学部教授)  
国 吉村 祥子 (国際学部教授)  
理・工・生環 前川 裕 (宗教主事)  
教 音楽チャペル チャペルオルガニスト

29 木

神 李 相勲 (宣教師、経済学部准教授)  
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)  
社 心新たにーコロナ後の出発⑪ 村田 泰子 (社会学部教授)  
法 澤 柚里 (法学部 2 年)  
経 経済と人間⑨ 上村 敏之 (経済学部教授)  
商 木山 実 (商学部教授)  
人 溝畑 潤 (人間福祉学部教授)  
国 Chapel in English Timothy O. Benedict (宣教師、社会学部准教授)  
総 久保 慶明 (総合政策学部教授)  
聖和 関西学院グリークラブ

30 金

ランバスチャペルアワー

「ことばの力」 Timothy O. Benedict (宣教師、社会学部准教授)

於：ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原) ※大学院チャペルはこちらへ合流します

神 大仁田 拓朗 (日本キリスト教団 甲子園教会牧師)  
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 経済と人間⑩ 堀 敬一 (経済学部教授)  
理・工・生環 森本 典子 (神学部専任講師)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
6月30日(金) 聖和短期大学のために 千葉 武夫(聖和短期大学学長)  
毎週金曜日、各テーマに沿ったお話を聞き、参加者で祈りを捧げています。学生・教職員の方々に開かれた祈祷会です。ランバス礼拝堂とZoom併用で実施しておりますので、ぜひご参加ください。Zoomでご参加希望の教職員・学生の方は、宗教センター(shukyocenter@kwansei.ac.jp)へ  
①メールアドレス ②お名前 ③所属 ④関学との関係(学生等)をメールでお知らせください。

---

\*\*\*\*\*

●院長室から発信! ビデオメッセージ「風に思う」 配信のご案内

院長室からのビデオメッセージ「風に思う」の配信をしています。毎回、聖書の言葉を取り上げ、それが今を生きる私たちに何を語るか、短くお話しします。キャンパスの美しい風景と合わせて、関西学院の中心となる精神に触れてください。



(月2回程度更新されます)

<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」 関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門を入れて右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。4月から関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

6月30日(金) 関西学院ハンドベルクワイア

7月6日(木) 関西学院聖歌隊

7月7日(金) 関西学院バロックアンサンブル

7月14日(金) 関西学院交響楽団

時間: 12時45分~13時15分

場所: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主催: 宗教センター・宗教音楽委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプローチタワー14階の大阪梅田キャンパス(1405教室)では、大学院授業期間中の月1回、原則第2木曜日にチャペルアワーを開催します。どなたでもご自由にご参加ください。

7月13日(木) 17:50~18:10 打樋 啓史(宗教総主事)

●2023年度 第1回 教育研究部サロン「関西学院・原田の森時代の社会貢献と文化発信」

今回のサロンでは荻野昌弘教授から、神戸原田の森キャンパス時代の関西学院の学生が神戸でキリスト教伝道を通じて社会福祉活動を実践していた賀川豊彦と協力して、神戸の社会問題にどのような関わりを持っていたかを語っていただきます。参加者との懇談も交えて進めてまいりますので是非ご参加ください。

お話し: 荻野昌弘(社会学部教授)

司会: 細見和志(総合政策学部教授)

日時: 7月14日(金) 17:10~18:40

会場: 本部棟会議室6(西宮上ヶ原キャンパス)

主催: 関西学院宗教活動委員会

※対象は関西学院教職員・学生です。

※対面で実施しますが、Zoomでの参加も可能です。

参加ご希望の方は右のQRコードからお申込みください。



●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第2・第4日曜日(原則)の午前10時から関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

7月9日(日) 10:00~11:00

● CD・DVDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

● 使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会（JOCs）切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

郵送でのご送付先：〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

● 盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

● 「チャペル週報」のバックナンバー（2005年以降）は下記で閲覧できます。

URL：<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/weekly/>

**関西学院宗教センター**

<https://www.kwansei.ac.jp/about/chapel/>

